

様式第7号（第21条関係）

番 号
令和6年6月10日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市唐人二丁目5-15 TOJIN館2F
団 体 名 特定非営利活動法人
空家・空地活用サポートSAGA
代表者職・氏名 代表理事 塚原 功
電 話 番 号 0952-20-0960

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和5年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和5年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人空家・空地活用サポートSAGA
- 2 事業実施期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

佐賀県佐賀市（駅前中央大通り周辺）において、住む人・働く人・訪れる人が増加し、地域が活性化し、不安が解消され、誰もが幸せに住み続けられる地域になる。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

佐賀県内、特に小城市、佐賀市の空き家等所有者の問題解決を進めた。空き家所有者に取っては不安が解消されたと思われる。
他団体との協働で、住宅確保要配慮者のスタートアップ支援や災害時などの食糧や日用品の支援を実施する中で見えてきた社会問題も、空き家問題を解決しながら、少しずつ進めてきた。（子どもの居場所やコミュニティフリッジの実施でひとり親家庭貧困問題を解決途中）

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

佐賀市、小城市の空き家等問題解決に寄り添い協働していけるように推進した。（令和6年度は、小城市との空き家等問題対策について協定を結ぶことになった）
九州でただ1つの子育て支援館「佐賀コミュニティフリッジ」の開所・継続については、他県からも多々視察・相談が着ている。空き家を利活用することで、子どもたちの笑顔のためになることが広がってきたと感じている。この取り組みも、住宅確保要配慮者の支援を重ねて出てきた社会問題を解決する手段である。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)		2,216,642
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	2,216,642
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	2,186,950
	前年度控除額(県事務経費)還付分	29,692
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		2,216,642
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	1,540,111
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	676,531
	返礼品等の調達に係る費用	529,351
	返礼品等の送付に係る費用	49,500
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	97,680

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)		0
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://sora-sora-saga.com>

ホームページ内の団体情報にあります